

評価方法

1.

授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が本学則に定める授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。なお、実習については、それぞれの施設に応じた日数の実習参加、及び施設からの実習評価をもって成績評価を行う。

但し、原則として、前期試験については7月27日までに前期分学費、後期試験は12月27日までに後期分学費の納入が確認できない場合、試験は受けられるが、成績評価を受けることができない。

2.

成績の評価と評価基準は以下の通りである。

S、A、B、C、D、E、Nで表し、C以上が単位を付与される。

90点以上をS、80点～89点をA、70点～79点をB、60～69点をCとして認定し、59点以下をD（不合格）、出席不足をE、認定科目をNとする。

また、GPA（Grade Point Average）を導入し、学内成績評価として使用している。GPAは生徒の履修した1授業科目あたりの平均成績を指すため、 $(S \times 4 + A \times 3 + B \times 2 + C \times 1)$ の合計を、各生徒が履修した総授業数で除して算出する。